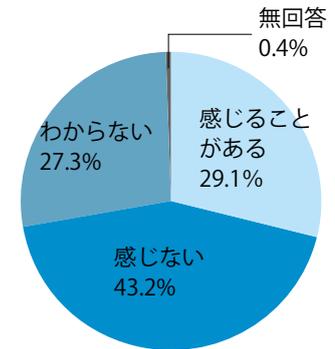


② まちづくり（参画・協働）

●「男性だから」「女性だから」といった理由で、不利益や不公平を感じることはありますか？

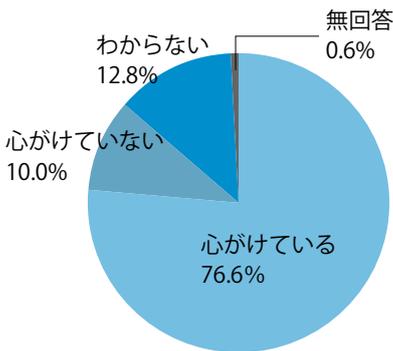
	感じることもある	感じない	わからない	無回答
回答数	283	420	265	4
R1	29.1%	43.2%	27.3%	0.4%
H30	29.0%	46.0%	24.2%	0.8%
増減	0.1%	-2.8%	3.1%	-0.4%

男女の不公平を「感じない＝平等だと思う」割合は2.8%減少しています。不公平を「感じない」男性は53.2%ですが、女性では34.5%に留まり認識差があります。最も不公平を感じているのは20代男性34.5%、50代女性38.5%です。社会や地域活動、働く場における男女共同参画を促進しながら、ワークライフバランスを推進する基盤や地域全体で子育てを支える環境整備を進めていきます。



③ やすらぎ（環境共生）

●日ごろから省資源（ごみの減量化、リサイクルなど）や省エネなど、環境に配慮した生活を心がけていますか？



	心がけている	心がけていない	わからない	無回答
回答数	745	97	124	6
R1	76.6%	10.0%	12.8%	0.6%
H30	76.8%	11.9%	11.0%	0.4%
増減	-0.2%	-1.9%	1.8%	0.2%

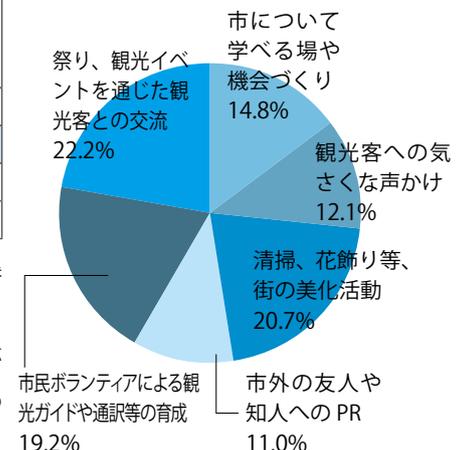
ごみの減量化やリサイクル、省エネを「心がけている」割合は76.6%で引き続き高い水準にあります。また、すべての年代において「心がけている」割合が50%を超えており、年齢が高くなるほど意識が更に高くなっています。幅広い世代の環境意識を高揚させるために、資源回収活動の支援などにより、ごみの排出抑制や資源化の啓発に努めます。

④ にぎわい（産業経済）

●「ホスピタリティ都市」宣言をしていますが、市民によるおもてなしを向上させるためには何が必要だと思われますか？（複数回答）

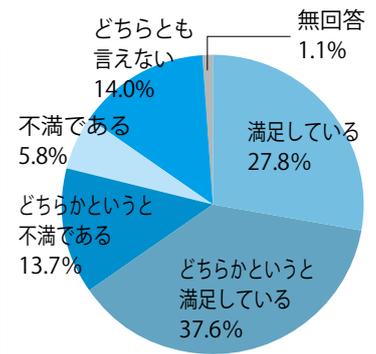
	市について学べる場や機会づくり	観光客への気さくな声かけ	清掃、花飾り等、街の美化活動	市外の友人や知人へのPR	市民ボランティアによる観光ガイドや通訳等の育成	祭り、観光イベントを通じた観光客との交流
回答数	312	256	438	232	407	470
R1	14.8%	12.1%	20.7%	11.0%	19.2%	22.2%
H30	14.4%	13.6%	18.4%	10.5%	20.4%	22.6%
増減	0.4%	-1.5%	2.3%	0.5%	-1.2%	-0.4%

清掃や花飾りなどの街の美化活動、観光ガイドや通訳などへの市民ボランティアの参加、まつり、観光イベントなどを通じた観光客との交流の項目が高い割合となりました。まちづくりに参加することで「ホスピタリティ」を実現したいという意識が高いことが伺えます。今後も市民ぐるみのおもてなしで観光客と交流を図る観光まちづくりを進めていきます。

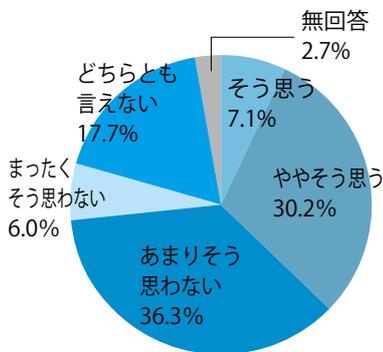


●現在の働き方に満足していますか？

	満足している	どちらかという満足している	どちらかという不満である	不満である	どちらとも言えない	無回答
回答数	219	296	108	46	110	9
R1	27.8%	37.6%	13.7%	5.8%	14.0%	1.1%
H30	25.7%	40.6%	12.3%	6.7%	13.8%	0.9%
増減	2.1%	-3.0%	1.4%	-0.9%	0.2%	0.2%



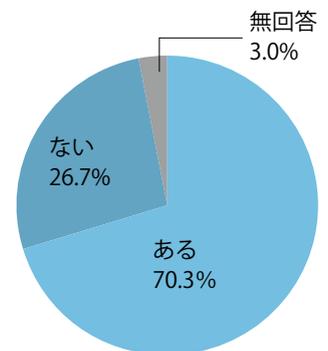
●下呂市は出産・子育てのしやすい環境だと思えますか？



	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	どちらとも言えない	無回答
回答数	69	294	353	58	172	26
R1	7.1%	30.2%	36.3%	6.0%	17.7%	2.7%
H30	8.6%	29.2%	36.3%	7.0%	17.0%	1.9%
増減	-1.5%	1.0%	0.0%	-1.0%	0.7%	0.8%

●あなたが自慢できる「下呂市の魅力」がありますか？

	ある	ない	無回答
回答数	683	260	29
R1	70.3%	26.7%	3.0%
H30	-	-	-
増減	-	-	-



※前回は記述式であったため、数値の比較データなし

「現在の働き方に満足していますか」の問いに対し、「満足している」が全体の27.8%、「どちらかという満足している」の37.6%と合わせて全体の約3分の2の人が「現在の働き方」におおむね満足感を得ています。「下呂市は出産・子育てのしやすい環境だと思えますか」の問いに対しては、「そう思う」が1.5%減少するなど、結婚から子育てまでの切れ目ない支援が今後必要と思われる。また、「あなたが自慢できる『下呂市の魅力』はありますか」の問いに対し、「ある」が70.3%で多くの人が下呂市の魅力を感じていることが分かります。引き続き私たちが住む地域への誇りや愛着の醸成を合言葉に、下呂市で生まれ育った子どもたちが今後も住み続けたいと思えるまちづくりを一層進め、「下呂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を確実に実行していきます。